

国道 18 号バイパス ～現在の整備状況について～



問い合わせ先

道路河川課（内線 3212）

国土交通省 長野国道事務所 計画課（☎代表、026-264-7001）

概要

上田市から千曲市を経て長野市に至る総延長 27.5km の「上田篠ノ井バイパス」は国道 18 号の慢性的な渋滞の緩和と交通事故の減少、地域発展の促進を図るために計画されました。

上田市から坂城町に至る区間は平成 3 年に事業化され、平成 22 年に暫定供用されています。（上田坂城バイパス）千曲市においては平成 6 年に更埴区間（屋代地区）の現道拡幅、平成 20 年には八幡から稲荷山までの区間が暫定供用されています。

現在は千曲市稲荷山から長野市篠ノ井塩崎区間（延長 2.6km）と坂城町南条から上五明までの区間（延長 3.8km）の工事が進められています。（坂城更埴バイパス）

千曲市稲荷山～長野市篠ノ井塩崎区間の整備状況

千曲市稲荷山から長野市篠ノ井塩崎区間においては、(仮称)稲荷山トンネル(平成 30 年 11 月貫通)内の舗装工事が今年度完了しました。現在、横断歩道橋の基礎工事が進められています。

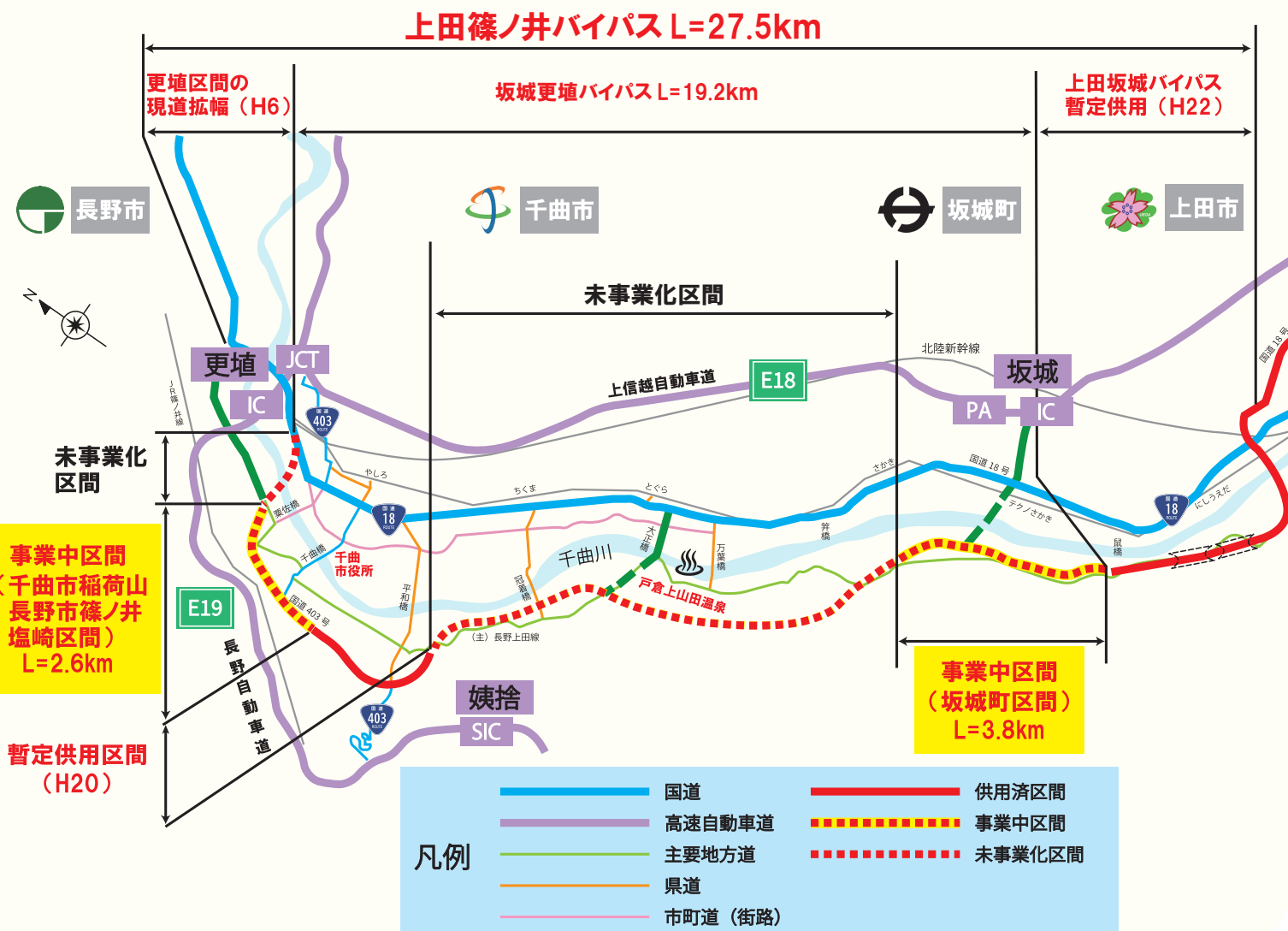
当該箇所は地盤状況が軟弱なため、地盤改良工事などに時間を要していますが、開通に向け工事が着実に進められています。



▲（仮称）稲荷山トンネル内の様子



▲令和 6 年 12 月 18 日時点の様子



▲稲荷山から長野市方面を望む

バイパスの早期開通を望む声を沢山いただいておりますが、千曲市長が会長を務め、上田市から長野市の間の市町で構成されている期成同盟会で、毎年国、県に早期全線開通の要望活動を行っており、本路線の重要性、地域の実情など粘り強く伝えていきます。

国道 18 号など幹線道路の渋滞によりご不便をおかけしておりますが、早期開通に向け国とも連携して取り組んでいきますので、ご理解ご協力をお願いします。

▲長野国道事務所ホームページ「坂城更埴バイパス」について